筆山
第14号／1992. 7

土佐中・高同窓会 関東支部会報
〒112 東京都文京区水道1-10-7 同学社内付 TEL 03-3816-7011／FAX 03-3816-7044 編集人／戸田博之（38回）

絵：向井隆宏 (44回)「気」

一回生会員の願い

同窓会員は何といっても母校の動機は一義にかかっている。一義にかかっている。集合と育成は当然だとは思えて。もう一義だけの利益道を求めてはこの国も生きては行けない時代になってきている。世界の視野でものを考えること。国際社会の各分野で日本を代表して活躍できる人材の登場を望む。

五回北岡

龍海
町田先生の思い出

吉野 保徳

町田先生との因縁は、中学二年の学びを支える竹内先生の名慕に始まる。それは同じ学年で、竹内先生の教えを受けた思い出が深く刻まれている。町田先生は、そのような学びの中で私達を導く存在であり、その後も先生の言葉は私たちの人生を支え続けていた。

町田先生の存在は、私達の成長を支え、学びの機会を提供してくれた。先生の言葉は一度は聴けば忘れられず、今も今日も私たちの心に響き続けています。町田先生の思い出は、私達が学びと成長を続けるための指針であり、先生のご冥福をお祈りします。
スケープ映像で……

ソ連邦崩壊を記録

日本テレビ特別放送……

昨年のリトアニア最高会議は、ここに到達しました。リトアニアの独立が世界中に報じられました。リトアニアの独立を祝うために、日本テレビが特別放送を行いました。

この放送は、ソ連の崩壊の象徴であり、世界の歴史を変える瞬間を捉えたものです。リトアニアの独立を象徴する映像が、日本テレビの特別放送で世界中に届けられました。

この放送は、戦後の世界の変化を象徴するものであり、リトアニアの独立が世界に伝わるきっかけとなった放送です。

この放送は、日本テレビが世界中に届ける、リトアニアの独立を祝う特別放送です。
関西支部だより

東海支部だより

カンボジア
眼鏡視察

富士メガネ / 38回生
窪田 秀忠

カンボジアで実施すると同時に、メガネの寄贈を緊急に

プノンペンのメインストリート風景
「盛んに盛ん！英語発音を高めるための対話型学習ソフトウェア」

北岡龍海

5回生 旧編

○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○〇
思い出の先生方

片岡 満先生（昭和58年）

おかあちゃん先生

長女

近藤 豊子（三四回）

昭和30年頃の旧木造校舎前で
編集者求む！できるならば若く

編集局業務スタッフ紹介

編集局編集課の後で。左から、戸田（38）、佐々木（35）、内川（30）、大和田（38）、鶴和（41）、藤原（42）、岩村（41）、岩本（44）

編集局編集課長、戸田課長（38）

編集局編集課長兼クラスターコーディネーター

編集局編集課長兼クラスターコーディネーターの戸田課長（38）は、編集局の中心人物で、編集局を指揮し、編集作業を担当しています。戸田課長は、編集局の運営や出版に関する問題を解決するため、日々の作業にあたっています。

編集局編集課長兼クラスターコーディネーターの戸田課長（38）は、編集局の中心人物で、編集局を指揮し、編集作業を担当しています。戸田課長は、編集局の運営や出版に関する問題を解決するため、日々の作業にあたっています。
大きな『ひつじ』

田内瑞穂

この話を聞いて、私は戦死した多くの友人が思い浮かびました。その中でも、特に強く思い浮かぶのが、戦前、戦中の校内において、我々が共に過ごした日々です。戦争の苦しみと戦後の復興の道を歩みながら、我々の友情はさらに深まったものでした。

この『ひつじ』は、我々の友人に対する愛と敬意を表しています。彼女たちの功績を忘れてはならないし、彼女たちの名を刻んで、後世に伝えることが必要です。

この冒険の奮闘の記録には、我々の友人に対する深い敬意を欠かせません。彼女たちの功績を忘れてはならないし、彼女たちの名を刻んで、後世に伝えることが必要です。
すきま風

某月某日、久しぶりに振る舞い同期のM氏と赤坂へ入ったお店で
のマスマハし・赤坂へ入ったお店
のM氏は彼とは言葉が合っていて
同所にいたM氏の存在を
とM氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存在を
M氏の存